ご 挨拶

和歌山県立笠田高等学校 校長 森下 兼男

和歌山県立笠田（かせだ）高等学校のホームページにアクセスいただき、ありがとうございます。

本校は今年、その前身である笠田町立笠田高等家政女学校の1927年（昭和2年）創立以来、92年の歴史を刻んでまいりました。学校規模は現在、1・2学年が5学級（総合ビジネス科1、情報処理科1、普通科3）3学年が4学級（総合ビジネス科1、情報処理科1、普通科2）の計14学級（男子178名、女子381名、計559名）となっています。

校訓は、「自主」・「友愛」・「健康」であり、生徒は礼儀正しく純朴で、時には健気でもあり、日々の授業にも集中して取り組んでいる非常に落ち着いた雰囲気のある学校です。

現在、次のような特色ある教育活動の取組を行っています。

- ◎10分間の「朝の読書」
- ◎1年生対象の週例テスト
- ◎1年生全員対象の就業体験（インターンシップ）
- ◎3年生全員対象の面接指導
- ◎検定取得の徹底（総合ビジネス科、情報処理科）
- ◎週2回の7限授業
- ◎少人数授業や習熟度別授業
- ◎大学訪問をはじめとした1年生から始まる進路学習
- ◎クラブ活動の強化・充実（運動クラブ強化のためのハイスクール強化校の指定）
- ◎地域との連携

進路状況については、同志社大学や関西大学、近畿大学をはじめとした関西の4年制大学や短期大学、近年志願者が増加した医療・看護系を中心とした大学や専門学校などに約85%の生徒が進学し、約15%の生徒が就職をしています。就職は地元企業や公務員を中心に、本年度も希望者のほぼ全員が合格内定を得ました。

クラブ活動も活発であり、運動クラブが10、文化クラブが16ある中で、ほぼ全生徒が加入し、日々熱心に活動しています。運動クラブでは、ソフトボール部が通算47回のインターハイ出場を果たすなど、常に全国レベルを維持しています。また、少林寺拳法部や陸上競技部、ソフトテニス部、卓球部なども全国大会や近畿大会に出場する強豪です。文化クラブでは、吹奏楽部やワープロ、珠算、情報処理、簿記などの商業系クラブが全国大会や近畿大会に出場しています。

地域に対しても「販売実習」や「地元かつらぎ町との連携事業」において、「パソコン講座」や「産業祭り活性化プロジェクト」等への参加を通して高い評価をいただいています。また、平成29年度から県内の学校に先駆け「学校運営協議会」を設置し、地域連携をより一層押し進め、地域の方々の協力を仰ぎながら生徒、保護者、教職員が一体となって、本校が目指す教育に邁進したいと考えております。

未来に向かって躍進する笠田高等学校に、皆様の力強いご支援とご協力をお願いいたします。